

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	成人看護	単位数	1単位 (2、3学期)	学年・学科・コース	1年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門8 成人看護I (メヂカルフレンド社)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、成人看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・成人看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・成人看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、成人の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
対象となる年齢層が幅広く、生活形態の変化も大きい成人期の疾病予防や障害等に応じた看護について、具体的な事例を通して学習することによって、生活習慣や家事、仕事、子供の育児、親の介護等が成人期の健康に与える影響を理解し、健康の回復や保持増進に関わる技術を身に付けている。	成人期の健康課題について具体例を取り上げ、看護の職業倫理を踏まえ意思決定や行動変容を支援して、望ましい生活習慣の獲得、セルフケアを促す視点から援助を考察するとともに、実施する援助とその根拠を明確にして、課題を解決する力を身に付けている。	成人の健康課題の解決に当たっては、仕事や家庭、地域社会での役割と健康づくりの両立を目指し、主体的かつ協働的に看護の実践に取り組む態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	成人の健康と看護	<ul style="list-style-type: none"> ・成人各期の特徴 ・成人の保健と福祉 ・成人看護の特徴 ・成人看護の倫理的課題 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・成人の生活・健康の特徴を踏まえた看護について理解できる。 	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト
10 11 12	健康レベルや障害の状況に応じた看護	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期 ・慢性期 ・終末期 ・リハビリテーション看護 ・がん看護 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・成人の生活・健康の特徴に応じた看護について多様な課題を発見し、倫理感を踏まえて解決策を見いだすことができる。 ・成人の生活・健康の特徴に応じた看護について自ら学び、成人の健康の保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	
					○	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や障害の程度に応じた看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 	
1 2	機能障害のある患者の看護	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸機能障害 ・循環機能障害 ・消化・吸収機能障害 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や障害の程度に応じた看護について自ら学び、患者の安全・安楽を守り回復の促進または穏やかな最期を目指し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト
						<ul style="list-style-type: none"> ・機能障害のある患者の看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 ・機能障害のある患者の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだすことができる。 ・機能障害のある患者の看護について自ら学び、患者の安全・安楽を守り、回復の促進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	